

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 新幹線対策課	川口 正剛
施策名	2 九州新幹線西九州ルートの整備と開業効果の拡大	事業群関係課(室)		
事業群名	② 新幹線開業に向けたアクションプランの推進	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	14,054

1. 計画等概要

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要			指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等				
				R5実績	うち一般財源	人件費（参考）	令和6年度事業内容及び実施状況 (令和7年度新規・補正事業は事業内容)			主な指標	R5目標	R5実績	達成率					
				R6実績							R6目標	R6実績						
				事業実施の根拠法令等			事業対象			R7目標	△△△							
取組項目 i	○	1	Hello! KAMOME 新幹線開業効果拡大事業	44,337	3,006	15,318	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容 ・開業2周年イベントの開催 ・小学生向け無料乗車会の開催 ・修学旅行等における新幹線利用への支援 	【活動指標】 県外プロモーションの実施（回）	1	1	100%	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・無料乗車会には、保護者を含め約1,000名が乗車。また、修学旅行等における新幹線利用支援により、離島を含む42校、1,153名の児童・生徒が西九州新幹線を利用。これらの取組などにより、対面乗換の現状への理解が広がり、全線フル規格に向けた気運醸成にも繋がった。 						
				14,054	3,309	15,768	<ul style="list-style-type: none"> ●実施状況 ・9/20,21の2日間、佐世保駅前広場において、鉄道好きタレントのトークショーや県産品の販売ブースの出展など、多彩なイベントを開催した。 ・県内の小学生以下の子ども達を対象とした新幹線の無料乗車会を開催した。 ・県内外の中学校を対象とした修学旅行等における新幹線利用を支援した。 		1	1	100%							
				17,150	8,797	7,090	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の小学生以下の子ども達を対象とした新幹線の無料乗車会を開催した。 ・県内外の中学校を対象とした修学旅行等における新幹線利用を支援した。 ・観光列車「ふたつ星4047」の初の佐世保駅までの運行を実施。 		1	△△△			<ul style="list-style-type: none"> ●事業群の目標達成への寄与 ・認知度向上、誘客促進、利用促進等に向けた各種事業の実施により、各地との周遊促進、安定的な新幹線利用者の確保等に寄与している。 					
				R5-7				【成果指標】 JRによる府県相互間旅客輸送人員〔関西・中国・福岡県～長崎県（千人）〕	2,305	1,812	78%							
				新幹線対策課	—	—	—		2,305	算定中	—							
				新幹線対策課	—	—	—		2,305	△△△								

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 新幹線開業効果拡大事業の実施	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和6年9月の西九州新幹線開業2周年に合わせて、JR九州や各市町と連携したイベントや子供向け乗車会の実施により、西九州新幹線の認知度は上昇したほか、修学旅行等による新幹線利用の支援や観光列車の佐世保駅実証運行等を行ったことで、県内への周遊を図った。</p> <p>引き続き西九州新幹線の効果を県内各地域へ波及させるため、安定的な新幹線利用者の確保と来県者の県内周遊促進への取組を強化する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>誘客促進、利用促進等を図るとともに、フル規格に向けた気運を醸成するため、引き続き、JR九州や市町等と連携した周年イベントや子供向け無料乗車会を開催し、西九州新幹線の現状や課題について考える機会を創出する。</p> <p>また、修学旅行等における新幹線利用を支援することで、安定的な利用者の確保に努め、県北地域で観光列車の実証運行を実施し、県内への周遊を促進する。</p>
------------------	---	--

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容			令和8年度事業の実施に向けた方向性						
							事業構築の視点	見直しの方向				見直し区分	
				※令和7年度の新たな取組は「R7新規」等と、見直しがない場合は「—」と記載				※					
取組項目 i	○	1	Hello! KAMOME 新幹線開業効果拡大事業	新幹線効果を県内各地へ波及させるため、令和6年度は佐世保で実施した周年イベントを波佐見町で開催し、D & S列車「ふたつ星4047」の実証運行（長崎～佐世保間）は、集客が見込める時期に実施することとした。	R5-7	新幹線対策課	②	西九州新幹線の開業効果を西九州地域全体へ波及させるため、新幹線の利用拡大と各地への周遊促進を引き続き実施するほか、JR九州や市町等と連携したプロモーション等を実施して、全線フル規格整備に向けた気運醸成を図っていく。				終了	

注：「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点